

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 7年 3月 13日

事業所名 辻義塾 橋岡教室

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	3	0		
	2	職員の配置数は適切である	7	0	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	2	4		駐車場の妙利は車いす移動には不向き。現在は福祉車両を玄関に付ける等に対応している。今後駐車場の舗装に向けて家主と相談中。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	2	0	週1回の会議にて実施できている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	4	3		第三者機関による外部評価は実施できていなかった。次年度実施に向けて、関係機関に相談中。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	0	リモート研修など多くの職員が受けやすい環境になっている	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	1	0	年齢や発達段階に応じたアセスメントシートを使用している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	0	段階毎・領域毎に療育目標を示した評価シートを活用している	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	0		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	0	その日の利用メンバーに合わせた活動内容を検討し実施している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	0	0	利用者ごとにめあてシートを作成し、日々利用者と一緒に課題の振り返りを行っている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	0		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	3	3	指導日誌をデータ化、どの職員も見ることができ、権王に応じて業務用LINEでも共有。	業務終了後はほとんどの職員が送迎にあたるため、当日中の振り返りは困難。翌日業務開始時のミーティングにて振り返りを実施。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1	0	今年度、より密に記録が取れるよう指導日誌を見直し一部項目を追加した	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0	0		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	2	0			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	0	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	1	0	学校側から拒否されてしまうこともある。学校側の負担も鑑みた上で、できる範囲での連携をお願いしている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7	0	0	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	0	0	橋岡教室は年齢層が高く就学前の情報共有を直接行うことはないが、相談支援や学校に情報共有をお願いしている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	0	0	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2	0	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	2	5	橋岡教室は高学年対象のため、学童や児童館とは年齢層が合わず計画的には行っていない。市町の様々なイベントなどに積極的に参加することで、地域の人達と関わる機会を設けていく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	1	0	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	3	0	利用者が高学年のため送迎時などに保護者を顔をお合わせることがほぼなく、面談時以外にお話できる機会が少ない。公式LINEを活用するなど連携が取りやすいよう工夫をしていく
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	3	1	保護者からの相談に対し助言を行い、その後についても経過を確認している	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	0	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	0	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	2	2	これまで要望もなく「不要」との声が多かったため現状では保護者会の実施予定はなし。問い合わせがあれば県内の保護者団体を紹介するなど個別に対応していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	0	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	0	SNSや保護者専用ブログを利用して発信している
	35	個人情報に十分注意している	5	2	0	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1	0	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	2	5	安全管理上の問題から事業所内に不特定多数の人を招くことは今後も予定していない。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	2	0	職員には周知されているが、保護者にはできていない。次年度ホームページのリニューアルを検討、ホームページ上の公表に合わせて保護者への周知をしていきたい
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	0	年数回イベントとして実施し、利用者と一緒に定期的に実施している
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	1	0	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	0	0	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1	0	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	0	